

大西さとし

市政レポート

令和4年 第6回 11月臨時会
第7回 12月定例会

HPやFacebookでも情報発信中!!

連絡先 〒760-0080 高松市木太町1849-1-602
TEL 090-8696-1730



←HP

Face
book→



「人」が輝き、
「まち」が輝く
「輝く創造都市、高松」

Report 報告 1



11月24日・25日の2日間の日程で、第6回臨時会を開催し、新型コロナウイルス感染症特別経済対策事業費等の一般会計補正予算3議案を可決しました。また、12月5日(月)から20日(火)の16日間の日程で、第7回定例会を開催し、一般会計補正予算など27議案を可決・認定したほか、議員提出議案5件を否決とし、陳情6件を不採択としました。なお、私自身本議会において代表質問を行い行政の考えを質しました。



議会中継の動画↑

12月定例会(抜粋) 質問および答弁の概要

政治姿勢について

◎ 新知事とのトップ会談を行ったの所感

▲ 池田新知事との初めてのトップ会談を開催し、「新型コロナワクチン接種体制の確保」や、「臨海部の開発」「子育て家庭への支援」など、県市間の重要課題等の解決に向けて、率直な意見交換を行ったところである。

また、それぞれの行政課題について、情報を共有することも、対応の方向性を確認することができ、非常に有意義な会談であったことから、今後も定期的にトップ会談を開催してまいりたい。

行財政について

◎ 来年度予算編成におけるコロナ対策と社会経済活動の両立や、原油価格・物価高騰への対応、及び財政健全化への取組み

▲ 来年度予算編成に当たっては、予算編成方針等で定める各級の取組を着実に実行し、メリハリの効いた予算とすることが重要であると存している。

歳入においては、「未利用地の売却」や「ふるさと納税の活用」など、自主財源の積極的な獲得に一層、努めるとともに、歳出においては、「DXの推進」や、「スクラップ&ビルド」の徹底により財源を捻出し、喫緊の課題への対応に、財源を重点的に配分してまいりたい。喫緊の課題である感染防止対策と社会経

済活動の両立や、原油価格物価高騰への対応に最大限留意するとともに、将来にわたり持続可能な財政運営に取組んでまいりたい。

行財政改革

◎ 行政サービス・手続のデジタル化への対応を進め、行政手続の簡素化や非来庁化などによる市民サービスの向上、及び業務の効率化による職員負担の軽減を図る考え

▲ 本市では、「スマートシティたかまつ推進プラン」において、「行かない、書かない窓口」を目指し、順次、マイナポータルの「ぴったりサービス」及び、汎用申請フォームである「LOGOフォーム」によるオンライン申請の対応を進めているところである。

当面の間は、オンラインと対面が並行することから「トランスフォーメーション」の言葉どおり、事務全体の流れを必要性そのものから考え、前例にとらわれず、簡素化が可能な部分は、躊躇なく見直すことが極めて重要となっている。

「サービスデザイン思考」に基づいた、利用者中心の行政サービス改革を進め、職員の負担軽減にも資するよう、全庁を挙げて、取組みを強化してまいりたい。

まちづくりについて

◎ 「第2期たかまつ創生総合戦略」企業誘致助成制度の拡充により、企業誘致をさらに促進する考え

▲ ウイズコロナの時代において、特に大都市圏の企業を中心として、地方へのサテライトオ

フィスの開設や、テレワークの普及など、ICTを活用した、場所や時間を選ばない、柔軟で多彩な働き方に対する関心が高まっている。本市では現在、誘致・立地に係る企業ニーズや、他都市の助成制度の状況等について、調査・研究を行っているところである。

今後とも、企業誘致助成制度の拡充に加え、誘致に取組む体制を強化することにより、目標の達成を目指して、企業誘致を更に推進してまいりたい。

産業振興について

◎ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策と、社会経済活動の本格的回復に向けた対応を両立する考え

▲ 国では、ウィズコロナに向けた新たな段階へと移行しており、水際対策の段階的な緩和や新たな行動制限は行わないなど、日常生活の継続や、社会経済活動の活性化ができるよう方針転換をしている。

また、経済対策として、全国旅行支援や、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策等を実施している。

本市では経済対策として、「Re:ビジット高松キャンペーン」や、キャッシュレス決済に対するポイント還元事業に取組む予定である。今後においても、ワクチン接種の推進を図り、感染拡大を防止する一方で、消費の喚起など、市内経済の活性化にも取組み、新型コロナウイルスへの対応と、社会経済活動の維持・回復との両立を推進してまいりたい。

観光振興について

◎ 瀬戸内国際芸術祭2022を終えての所感と、次回の開催に対する考え

▲ 「瀬戸内国際芸術祭実行委員会」の発表によると、来場者数は、前回の6割程度にとどまりましたが、コロナ禍での開催で海外からの来場者がほとんど見込めない状況であった

Q「第2期高松市子ども子育て支援推進計画」
新たな保育ニーズに対応していく考え
A 本市では、子育てと仕事の両立を支援するため、「休日保育」や「時預かり事業」を実施している。
 また、私立事業者においては、居宅へ訪問して保育を行う「ベビーシッター事業」を提供している。
 近年、共働き世帯の増加や働き方の変化に伴い、コロナ禍とも相まって、保育ニーズの多様化に即した、子育て支援の更なる充実が求められていると存している。
 今後においては、次期「高松市子ども・子育て支援推進計画」の策定に当たり、来年度に行う予定のニーズ調査等により、保育ニーズを的確に把握する中で、保育事業者とも連携を図りながら、必要に応じて、新たな保育ニーズに対応した子育て支援策を検討してまいりたい。

子育て支援について

ことを踏まえると、国内の来場者を中心に、多くの方々が本市を訪れ現代アートの祭典を楽しまれたものと存している。
 感染症対策が最も重要な課題の一つであったが、会期中、各会場でのクラスターの発生や大きな混乱等もなく無事開催できたことが、最も評価すべき点であると存じている。
 本市が整備した屋島山頂交流拠点施設「やしまーる」が好評を博し、屋島エリアの活性化や観光振興などにも、確かな手応えを感じている。
 次回の開催について、2025年は「大阪・関西万博」の開催年にも当たり、インバウンドを含む、多くの来場が見込まれることから、地元住民や関係者の意見も踏まえた上で、次回開催を働き掛けてまいりたい。

Report 報告 2

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応について

今年の冬は、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行により、さらに多くの発熱患者が同時に生じる可能性があります。
 発熱外来（診療・検査医療機関）等にかかりづらくなる場合に備え、事前の準備やご理解をお願いします。

事前の準備

感染が拡大する前のワクチン接種をご検討ください。

- ・新型コロナワクチンの接種
- ・インフルエンザワクチンの接種

発熱などの体調不良時に備えて、早めに準備をしましょう。

- ・食料品、生活必需品など
- ・新型コロナ抗原定性検査キット
- ・解熱鎮痛薬

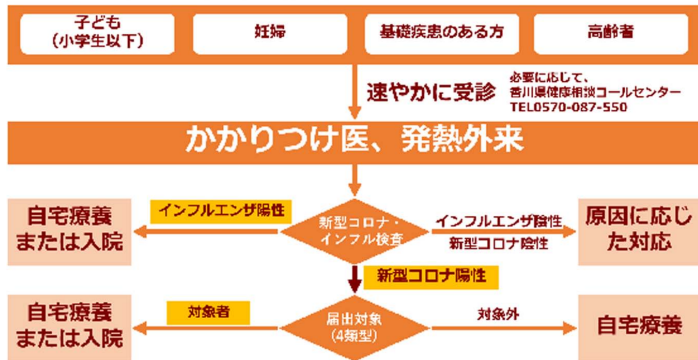
あわせて確認しておきましょう。

- ・香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター
 電話：0570-087-550

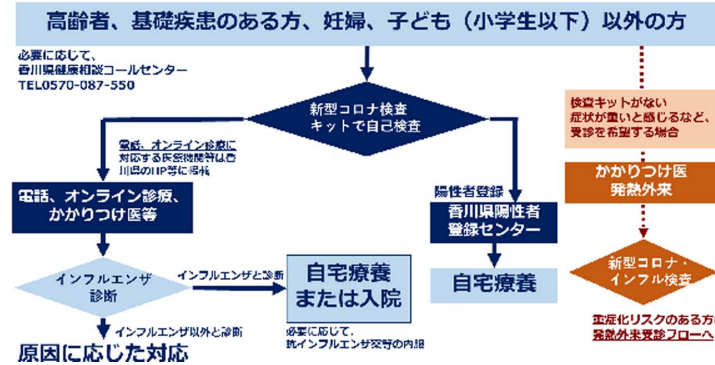
コロナ禍も4年目を迎えますが、「正しく恐れて」「適切に対応する」ことで、皆様の健康を守り、暮らしを守ることができると存じます。
 そのためには、相談・支援体制の充実や、必要とされる情報の発信などが重要となりますので、引き続き、皆様からのお声をもとに、全身全霊で努めてまいりますので、是非ともお声をお聞かせください。

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザとの同時流行に備えた外来受診と療養のイメージ図

**新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの高い方
 小学生以下の子どもと保護者の方**



**新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの低い方
 高齢者、基礎疾患のある方、妊婦、子ども（小学生以下）以外の方**



大西 智

そのために、「G7香川・高松都市大臣会合」では、万博を見据えた香川・高松の魅力発信など、インバウンド需要の回復・増大に向けた取組みを行うことで、コロナ禍により大きく傷ついた観光産業や、地域経済の回復に向けて努めてまいります。

Colum コラム

2023年は「G7香川・高松都市大臣会合」が開催されます
 主要国首脳会議、いわゆるG7広島サミットの開催に合わせて行われる14の関係閣僚会合のうち、「都市大臣会合」が、7月7日から9日の3日間の日程で、香川県・高松市で開催されます。



高松市の魅力を世界へ発信します



詳しくはこちら→